

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	安全	26年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 維持管理推進担当課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト				
事務事業名	港湾施設等アセットマネジメントの推進	延伸	維持	維持	連絡先	052-384-4821	
					連携課	財政課、港営課、管財課、管理課 他	
目的	対象(誰・何を)	維持管理計画書を作成した名古屋港管理組合が所有・管理する施設				事業期間	平成25~27年度
	意図(どういう状態にしたいか)	維持・更新費用の抑制や予算の平準化等を確保しながら、必要な性能、機能を回復させます。					
概要	港湾施設等の使用実績、重要度及び投資効果等を考慮し、施設の長寿命化と修繕費の低減・平準化を図るため、港湾施設等アセットマネジメント推進計画を策定し、必要な性能、機能を回復していきます。				根拠法令等		
27年度の実施予定	港湾施設等の利便性、安全性、資産の効用等を考慮して、補修を持続的に進められるように、港湾施設等アセットマネジメント推進計画を位置付け、公表を行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連シート		

2 DO(実施)

27年度に実施した内容・結果	厳しい財政状況の中、施設の補修を持続的に進められるように、計画的な維持管理を行う施設の50年間の補修スケジュールを作成し、港湾施設等の維持補修費の平準化を図りました。その結果を踏まえ、平成28年3月に港湾施設等アセットマネジメント推進計画を策定・公表しました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(平成25年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	23,652	29,951	31,217	84,819	
合計	千円	23,652	29,951	31,217	84,819	

3 CHECK(検証)

指標名	25年度	26年度	27年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
港湾施設等アセットマネジメント推進計画策定の工程(全6工程) (進行管理型)	目標	-	6	6	6(累計)	工程の完了した数: 手順策定と順位、レベルの決定及び補修スケジュール作成(①建築施設、②電気施設、③機械施設、④土木施設)、⑤PDCAサイクル確立、⑥説明・公表	
	実績	2	4	6			
	事業進捗状況(27年度)		順調 やや遅れ・遅れ				
	目標						
	実績						
事業進捗状況(27年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	平成27年度は、順調に進捗し、計画の策定・公表を完了しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>	港湾施設等の老朽化が急速に進んでいるため、厳しい財政状況の中で安全性、利便性の確保と長寿命化を図るには、予算の平準化を行いながら、安全性を確保していく必要があります。					
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>	港湾施設等アセットマネジメントを推進することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に資すると考えています。					
効率性 最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	必要最小限の人数で取り組んでおります。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			平成28年3月に港湾施設等アセットマネジメント推進計画を策定・公表したため。
課題			28年度以降の取組
策定した計画に基づき、計画的な維持補修に努めていく必要があります。			老朽化が進む港湾施設等について、安全性の確保と、ライフサイクルコストを踏まえた長期的な維持補修費の低減を図るため、計画の取り組み当初の対応として、平成28年度から平成37年度までの10年間で集中的に補修を進めていきます。